◎　理科部門（小）

1　行事及び内容

⑴　研究委員会

ア　第１回　６月３日（月）　・本年度事業計画

・小学校理科実験講習会日程　・小学校理科部門別研修会日程

イ　第２回　２月７日（火）　・年間活動反省　・来年度の方向性

⑵　理科実験講習会準備委員会（研究委員会及び協力者会）

①　５月２９日（水）　・方針及び日程説明、単元配当、講師決定
②　７月　３日（水）　・講習内容検討会
③　８月　５日（月）　・テキスト内容検討、実施実験決定、教材注文
④　８月２２日（木）　・テキスト製本（５０部）、実験器具の点検、材料の準備

⑶　理科実験講習会

期　日　　８月２３日（金）　会場：本渡南小学校（図書室及び理科室）

出席者　　第３学年担任及び希望参加者（参加総数３３名）

講　師　　１０名

⑷　天草郡市科学展・発明工夫点審査会

期日　　１０月１５日（火）　　会場：天草教育会館

内容　　県出品作品１４点・郡市優秀賞２３点・発明工夫展５点審査

⑸　授業研究会

期日　　１０月１８日（金）　　会場：本町小学校

内容　　公開授業　第６学年　「てこのはたらき」

授業者　　本町小学校　増田直朗　教諭

研究会　　参加者　３０人

助言者　本渡北小学校　酒井武志　校長

⑹　熊本県科学研究物展示会出品（７８回）小中あわせて優賞７点　良賞７点

ジュニア科学賞　小学校１点　中学校２点

熊本県発明工夫展出品（５２回）　小中あわせて５点

ＴＫＵ賞　小学校１点　　ＫＫＴ賞　小学校１点

２　本年度の反省と来年度の志向

⑴　理科実験講習会（部門別研修）は、理科部門の先生方及び希望する先生方に参加いただいた。他の研修会との重複がないように日程を組み、多くの先生方に参加していただけた。

第３学年の内容について講習を行い、各単元について児童がつまずきやすい内容をわかりやすくする手立てやスムーズに実験に取り組むためのこつ、別の実験方法の提案など、先生方の準備の効率化などを考慮して資料を作成した。理科専科になり初めて理科を担当することになった先生や理科担当の経験の浅い先生も多く、講習内容がわかりやすかったと好評であった。

近年、講師の数が減少し一人一人にかかる負担が増加しているが、働き方改革を踏まえ、指導内容の精選や資料作成方法の工夫をすることで、負担の軽減を図るようにした。来年度から新学習指導要領の完全実施となるため、単元の変更等に対処しながら、天草の児童のため、先生方のためになるような資料を作成していきたい。

⑵　天草郡市の小中学生の自由研究としての科学研究への取り組み総数は小学校約２５００点、中学校約８００点、合計約３３００点と多数であり、児童数減の中，各学校でしっかり取り組んでいただいていることがうかがえる。そのうち科学展へは小学校１２２点、中学校１３点の出品となった。小学校は、近年低学年の出品がほとんどない状態だったが、今年度はやや増え県科学展にも出品することができた。作品としての内容もよい作品が多く、まとめ方も先生方の熱心な指導のたまものと感謝している。発明工夫展は小学校５点、中学校１７点、合計２２点出品いただき、県の特別賞に２点入賞する質の高い作品が多かった。

来年度も多くの子どもたちに科学研究に取り組んでもらうとともに，身近なところから疑問を見つけ出し深まりのある作品となるよう啓発をしていきたい。

⑶　１０月１８日に本町小学校において研究会を行い、増田直朗教諭による６年生の理科授業を公開した。事前の研究会では理科部門の小学校の研究委員５人と協力いただいた先生方とともに、理科の見方・考え方を生かした問題解決の学習について授業づくりを行い、実験や観察の体験的な活動の充実、思考力・判断力・表現力をそだてる学習過程の工夫に視点を置いて研究を重ねてきた。当日の授業研究会では理科部門に所属の各校の先生方に参加いただき意見交換が行われた。前述の視点について来年度からの新学習指導要領の実施を踏まえた様々な意見を出していただき充実した研究会となった。